

報道関係者 各位

## 東日本大震災から13年。いかにして事故や災害に対応し、生きていくかを考える シンポジウム『生きる』上映の一年「映画で語る大川小学校津波事故 part3」 映画上映会&パネルディスカッションを開催

日時：2月18日(日) 13:00~17:00

場所：神田キャンパス 7号館3階731教室(東京都千代田区神田神保町3-8)

専修大学(所在地:東京都千代田区、学長:佐々木重人、以下本学)法社会学研究室では、本学学生と一般の方を対象に、東日本大震災での大川小学校津波事故<sup>\*</sup>をともに考えるシンポジウムを、2024年2月18日(日)に神田キャンパスにて開催します。

2023年3月4日(土)に開催した part1では、森元修一監督『大津波のあとに』(2011年制作)を、4月8日(土)の part2では、佐藤そのみ監督『春をかさねて』『あなたの瞳に話したら』(2019年制作)を神田キャンパスにて上映し、アフタートークを行いました。今回の part3では、大川小学校事故で子どもを失った親たちの姿を描いた映画、『生きる』大川小学校 津波裁判を闘った人たち』の上映一周年を機に、ご遺族、訴訟代理人弁護士、監督や鑑賞者などが集まり、映画と各地での上映の反響を振り返り、大川小学校津波事故とその教訓などを考えます。

当日上映する『生きる』大川小学校 津波裁判を闘った人たちは、第78回毎日映画コンクールのドキュメンタリー映画賞を受賞した作品となります。

つきましては、ご多用のところ恐縮ですが、報道関係の皆様にご案内申し上げます。

※2011年3月、東日本大震災の津波で児童74人(うち4人は行方不明)、教職員10人が犠牲となった宮城県石巻市の事故。

～概要～

### ■シンポジウム『生きる』上映の一年「映画で語る大川小学校津波事故 part3」

日時:2024年2月18日(日)13:00~17:00

場所:専修大学神田キャンパス 7号館3階731教室(東京都千代田区神田神保町3-8)

内容:第1部 映画『生きる』大川小学校 津波裁判を闘った人たち』上映(13:00~15:15)

第2部 パネルディスカッション(15:30~17:00)

パネリスト(予定):紫桃隆洋(大川小学校津波事故遺族)、吉岡和弘(弁護士)、齋藤雅弘(弁護士)、  
寺田和弘(映画監督)、原田真理(玉川大学教授)

コーディネーター:飯考行(専修大学教授)

参加方法:事前申込制(申込期限:2024年2月16日)

申し込みフォーム:[https://docs.google.com/forms/d/1QANWL7IAfELbyvQ4DQjv6FnCqiQVIGHfuxll4g5LKas/viewform?edit\\_requested=true](https://docs.google.com/forms/d/1QANWL7IAfELbyvQ4DQjv6FnCqiQVIGHfuxll4g5LKas/viewform?edit_requested=true)

参加費:無料

定員:先着80名(後半のパネルディスカッションのみオンライン配信あり)

告知用ウェブページ:<https://www.saibanhou.com/ikiru.html>

主催:専修大学法社会学研究室

一般からの問い合わせ:専修大学・飯考行(iit@isc.senshu-u.ac.jp)

